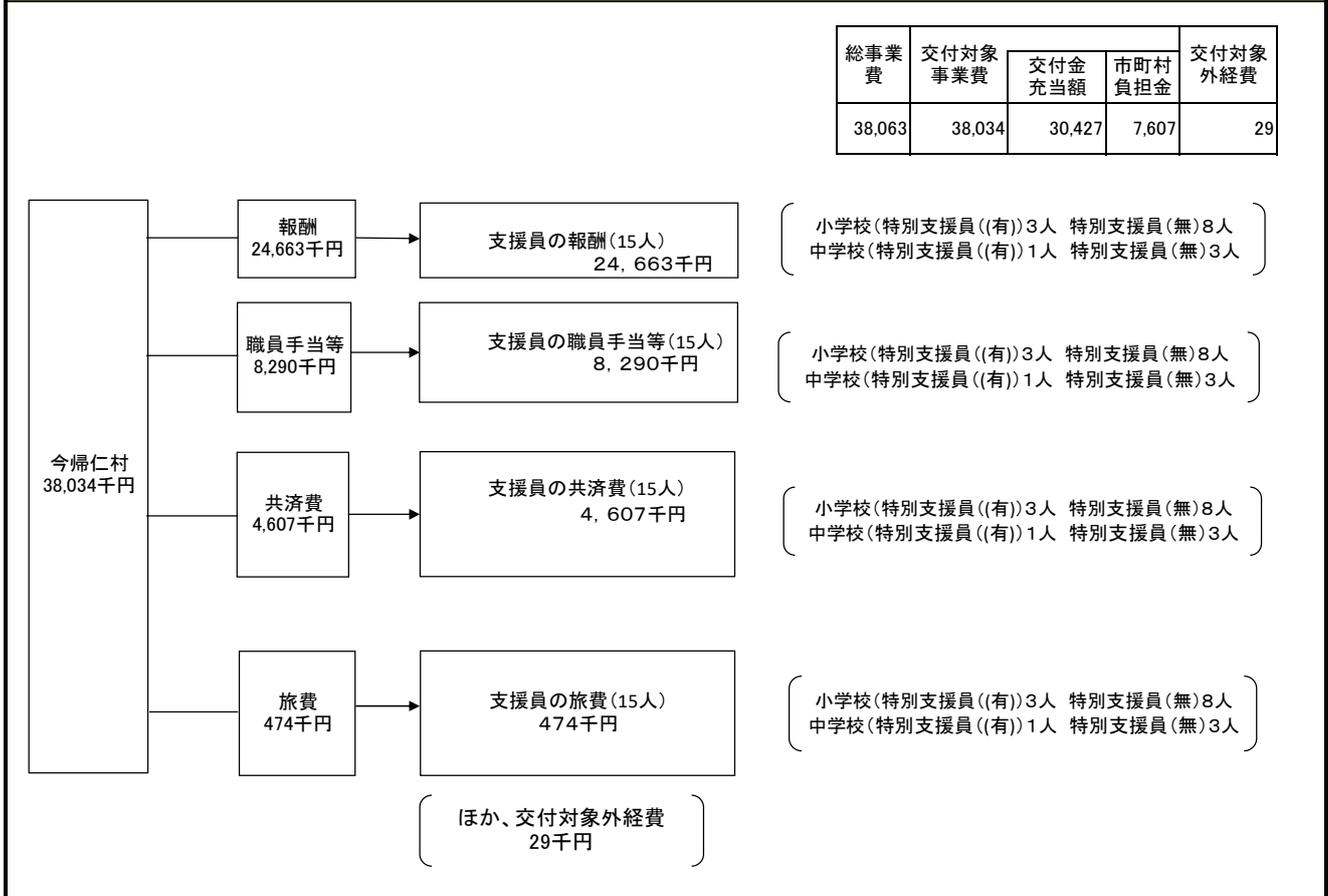


市町村名	今帰仁村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	教育環境充実事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「生きる力」を育む学校教育の充実		
事業内容	・児童生徒に対し、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、小中学校にそれぞれ特別支援員(有資格者)と特別支援員(無資格者)を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,994	30,235	31,940	33,884	40,457
		(b) 予算現額	23,949	28,450	32,340	33,884	38,383
		(c) 増減額(b-a)	-45	-1,785	400	0	-2,074
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	23,949	28,450	32,340	33,884	38,383	
	B. 執行済額	19,186	23,949	28,450	31,790	31,457	
	うち交付金充当額	15,349	19,159	22,759	25,432	25,164	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	80.1%	84.2%	88.0%	93.8%	82.0%	
予算の状況の説明	・特別支援員(有資格者・無資格者)は、当初目標どおり配置出来たが、退職(3人)により支援員を配置できなかった期間が発生したため当初予算との乖離が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	支援員の配置人数 ・小学校(有資格)4人 (無資格)9人 ・中学校(有資格)1人 (無資格)4人		目標 (小(有)3人(無)6人 中(有)1人(無)3人)	(小(有)3人(無)9人 中(有)1人(無)3人)	(小(有)4人(無)8人 中(有)1人(無)3人)	(小(有)4人(無)9人 中(有)1人(無)3人)	
			実績 小(有)3人(無)8人 中(有)1人(無)3人	小(有)3人(無)9人 中(有)1人(無)3人	小(有)4人(無)8人 中(有)1人(無)3人	小(有)3人(無)8人 中(有)1人(無)3人	
達成状況説明	・特別支援員(有資格者・無資格者)は、小学校において無資格者を1名配置することができなかった。中学校において有資格者を6月末に採用したが9月に退職したため、中途募集を行ったが後任を採用することができなかった。 ・現場職員と情報交換を行い、支援の必要なところには適切に配置、サポートすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ( )	( 80% )	( 80% )	( 90% )	( )
			実績	97%	96%	95%	
	進捗状況説明	・アンケート結果について、特別支援員(有資格者)や特別支援員(無資格者)の配置により学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたとの回答が95%となり、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・アンケートにおいて対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたかについて95%が改善できたと回答があり支援員を配置する事により効果があったと考えられる。しかし、人員を増やしてほしい、適正な人数を配置して欲しいという要望があった。また、担当によってスキルが異なるという意見もあった。</p>	<p>・人材の確保のため委託も検討する。 ・状況は絶えず変化するため定期的に連絡会及び研修会を行い、支援員個々のスキル向上や各校の取り組みの標準化を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>・支援が必要な対象者も増えているため人員の増員や委託等による人材の確保を検討し、支援の必要なところには適切に配置、サポートする体制を構築するとともに教育委員会、現場職員、支援員の連携を密に行い連絡会・研修会を通して情報交換し、状況を把握する。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○特別支援員については、公募し書類選考及び面接により決定している。特別支援員(有資格者)においては、「教員免許の所持」を条件として公募し書類選考及び面接を行っており、適切かつ妥当な選定である。</p> <p>○予算規模については、目標を達成でき、適切なものとなっている</p> <p>○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

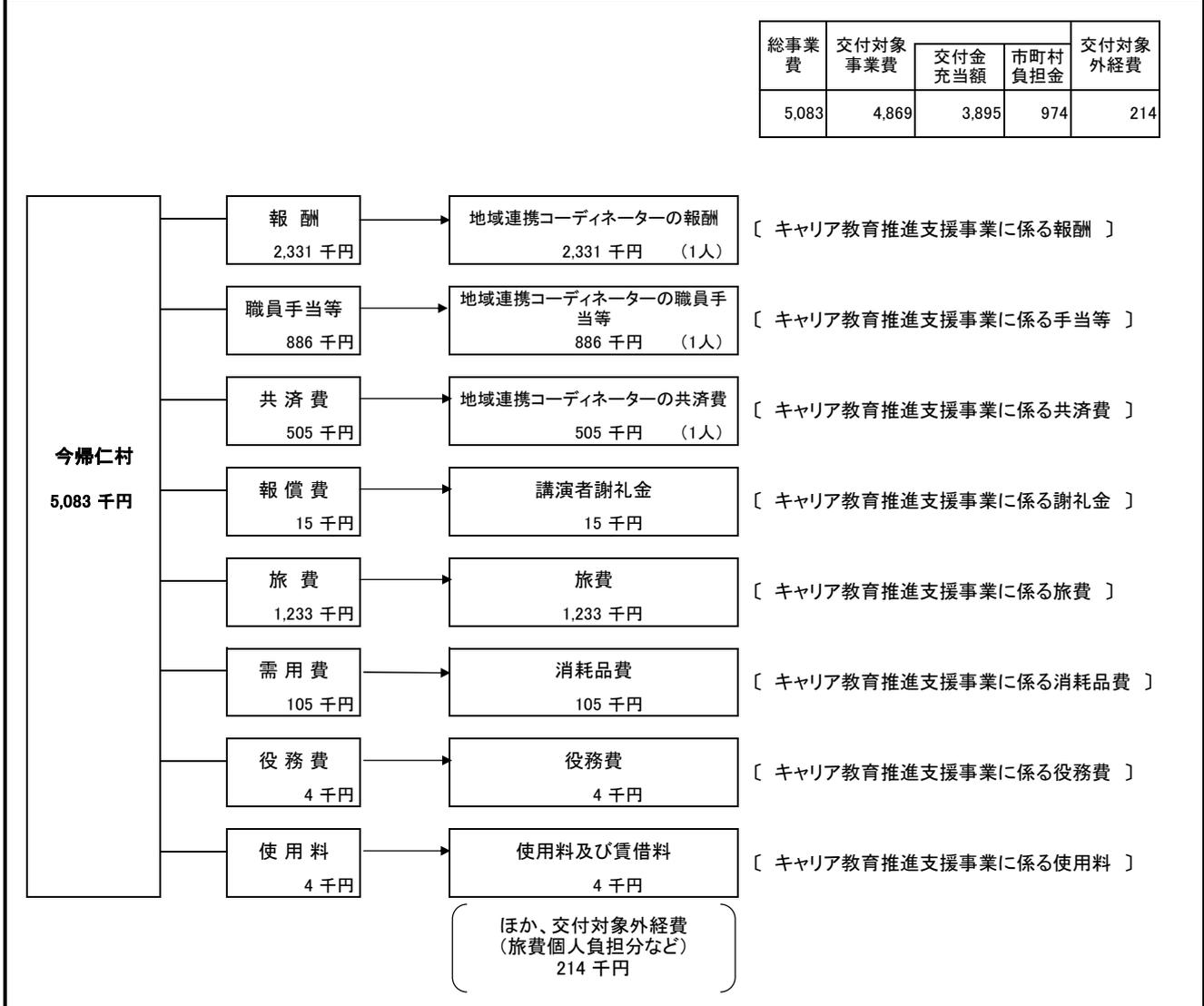
市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	児童生徒等の県外派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-3-(9)-イ	
	担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成	
事業内容	今帰仁村に在住する児童生徒、村立小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会等に参加する為の県外派遣費を支援する。本事業により、児童生徒等が県外の大会に参加することを後押しし、児童生徒のスポーツ等に対する主体性の向上や将来の沖縄のスポーツ振興に寄与することが期待される。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,500
		(b) 予算現額	350	750	1,299	2,000	1,050
		(c) 増減額(b-a)	-650	-250	299	1,000	-450
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	350	750	1,299	2,000	1,050
	B. 執行済額		398	733	1,151	1,419	1,031
	うち交付金充当額		318	586	921	1,135	824
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		113.7%	97.7%	88.6%	71.0%	98.2%
予算の状況の説明		上半期は昨年度に比べ申請件数が少なかったが、下半期の申請件数が多く、概ね見込み通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	小、中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加する為の県外派遣費を支援する。	目標	( 派遣費を補助 )	( 派遣費を補助 )	( — )	( — )	
		実績	86名/13件	97名/18件	—	—	
	各種媒体での広報活動(3つ以上)	目標	( — )	( — )	( 広報活動(3つ以上) )	( 広報活動(3つ以上) )	
実績		—	—	3つ	3つ		
保護者へのアンケートによる効果検証(全数実施)	目標	( 全数実施 )	( 全数実施 )	( 全数実施 )	( 全数実施 )		
	実績	86件/86件(100%)	99件/99件(100%)	108件/108件(100%)	101件/101件(100%)		
達成状況説明	各種媒体での広報活動として3つ(村広報誌、デジタルサイネージ、チラシ)を行なったことで、補助実績人数及び件数ともに増えている。 詳細は以下の通り。 ・小学生 4件(17人) ・中学生 9件(16人) ・高校生 12件(68人) ・監督等 (4人)						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
			( )	( 10件以上 )	( 10件以上 )	( 15件以上 )	( )
	事業申請(相談)件数:(15件以上)	目標	( )	( 10件以上 )	( 10件以上 )	( 15件以上 )	( )
		実績		18件	28件	31件	
	県外の人との競争や交流を通じて、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画につながったか(90%以上)	目標	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( 90% )	( )
実績			88.6%	99.1%	98.0%		
進捗状況説明	31件の相談件数があり、目標値15件を達成した。広報活動による事業周知について一定の成果があったと考える。保護者へのアンケートの結果、「県外の人との競争や交流を通じて、児童生徒の主体的な競技への参画につながった(又は今後、競技参画への主体性が増す)」との回答が98%であり、目標を達成した。						



市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	キャリア教育推進支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
	担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。地域の良さや長所を再認識・再発見し新しい時代・環境に適応できる人材を育成する為、各校の授業カリキュラムと関係団体や地域人材と連携を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,233	4,356	4,093	4,148	4,725
		(b) 予算現額	2,363	2,708	3,667	4,148	4,869
		(c) 増減額(b-a)	-1,870	-1,648	-426	0	144
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	2,363	2,708	3,667	4,148	4,869
	B. 執行済額		2363	2708	3637	4111	4869
	うち交付金充当額		1890	2165	2910	3085	3895
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.2%	99.1%	100.0%
予算の状況の説明		各校の授業カリキュラムと関係団体や地域人材と連携を行えたことで、概ね予定していた計画どおりに執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	キャリア教育コーディネーター・職業観を育む活動・経営意識を育む活動	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	キャリア教育に係わる講演会	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	中止	実施	実施	実施	
	県外インターシップ研修事業	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
実績		中止	中止	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携コーディネーターの配置、講演会、県外インターシップ事業、教育ファーム事業、は、目標どおり実施した。</li> <li>・プロデューサー育成事業は募集を行なったが応募者がいなかったため日程の都合上実施することができなかった。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
			( 80% )	( 80% )	( 90% )	( )	
	就業に対する意識が向上したか(90%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 90% )	( )
		実績		94%	95%	98%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を受けた児童へのアンケートの結果について、就業に対する意識が向上したとの回答が98%となり、目標を達成できた。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロデューサー育成事業を行なうことはできなかったが他の事業を行うことで、児童生徒の就業に対する意識向上につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業意識の向上のため産・官・学が協力する必要がある。</li> <li>・学校と連携を図り、事業の開催時期等を再度検討する。</li> <li>・事前研修や事後研修の内容や環境を充実していく必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続してキャリア教育の推進を支援していくことで児童生徒の就業意識の向上を図るため、産・官・学が協力する体制を構築する。</li> <li>・各学校と連携を図り、各事業の開催時期や対象者等を再度検討し、事業の遂行に努め児童生徒の就業意識の向上を図る。また、各学校の児童生徒学年により必要な指導方法が違うため、事業の開催時期や状況に合わせた取組のサポートを継続し実施していく。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



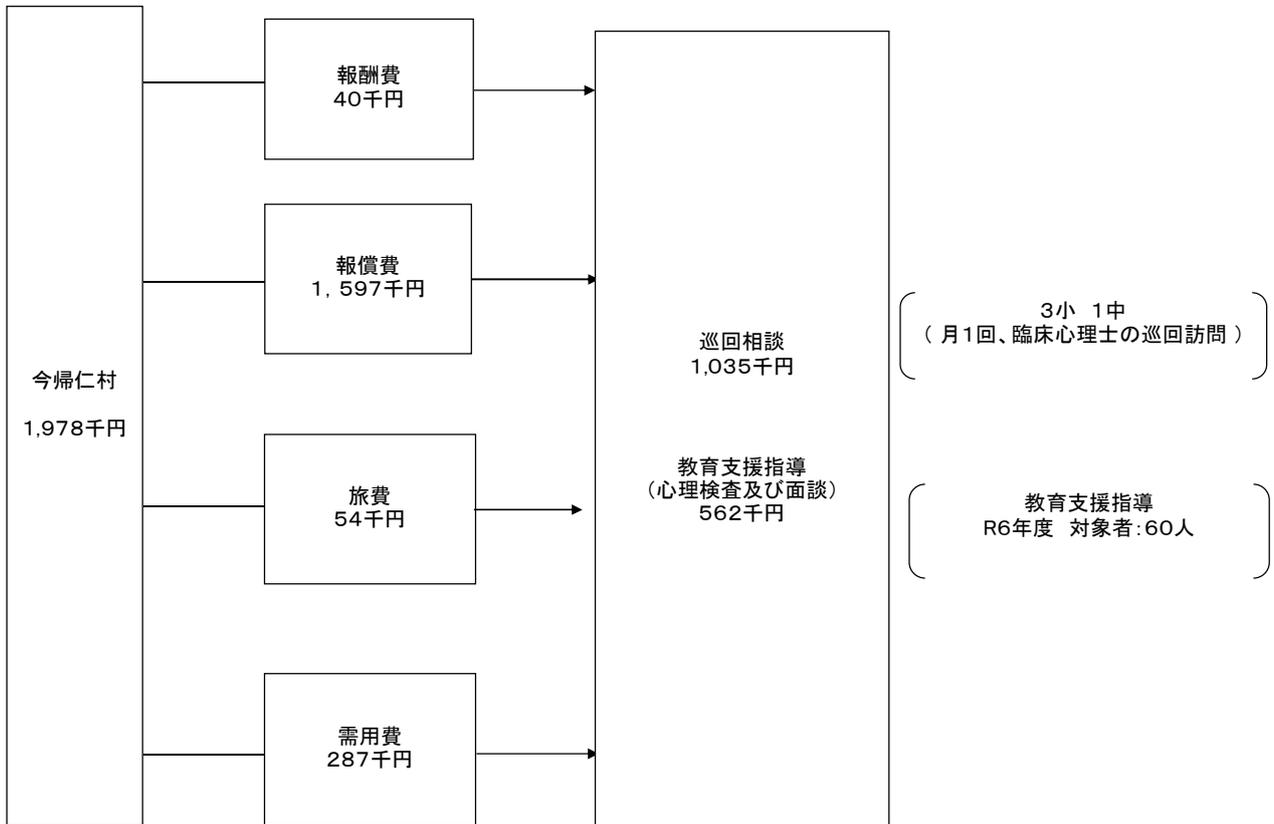
資金の流 れ、費 用・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地域連携コーディネーターについては、公募にて行い書類選考及び面接により決定しており、適切かつ妥当な選定である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要なものに限定しているので適正な規模である
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費用・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村						
<b>令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-④	教育支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-5-(2)-イ	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	■直接実施      □委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,283	1,812	1,777	2,001	2,291
		(b) 予算現額	1,183	1,533	1,773	2,001	2,076
		(c) 増減額(b-a)	-100	-279	-4	0	-215
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	1,183	1,533	1,773	2,001	2,076
		B. 執行済額	1183	1,533	1,642	1,715	1,977
		うち交付金充当額	946	1,228	1,313	1,372	1,581
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	92.6%	85.7%	95.2%
	予算の状況の説明	見込み(2,076)より、執行済額▲99となったが、ほぼ計画とおりに進めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	定期巡回学校訪問(3小学校 1中学校) 回数:原則1校あたり月1回(4h)年12回	目標	( 小36回 中12回 )	( 小36回 中12回 )	( 小36回 中12回 )	( 小36回 中12回 )	
		実績	小45回 中15回	小45回 中15回	小36回 中10回	小36回 中10回	
教育指導検査 内容:対象となる児童生徒の心理検査及び面談 回数:心理的検査64回、保護者面談61回	目標	( 検査46回 面談44回 )	( 検査55回 面談55回 )	( 検査60回 面談65回 )	( 検査64回 面談61回 )		
	実績	検査46回 面談44回	検査64回 面談61回	検査52回 面談50回	検査58回 面談69回		
達成状況説明	臨床心理士及び教育指導検査員を派遣し、学校生活への不適応や対人関係で問題が生じている児童生徒・保護者に対して支援を行った。 定期巡回相談は、臨床心理士が3小学校、1中学校に月1回(緊急対応月あり)学校訪問を行い特別な支援が必要な児童生徒へ面談を行った。 教育指導検査は、対象となる児童生徒の心理的検査及び面談を行い、保護者へのフィードバックの際に検査結果の内容等説明しながら相談対応を行うことで、次年度の支援先に繋げることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(67%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 62% )	( 62% )	( 67% )	(      )
		実績		100%	100%	100%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合の目標値は61%以上としたが、アンケート結果は100%が改善したとの回答であり目標値を上回った。</li> <li>過去の実績を参考に直近3年分の平均値を上回ることを目標に62%以上としたが、実績では98%が改善したと回答があった。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士による巡回相談(月1回4時間)を実施することを目標としているが、各学校から実施時間の増希望があったため、午後まで対応出来るよう調整することができた。</li> <li>教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施するにあたり、該当児童生徒が年々増加傾向にある。そのため、検査にあたる検査員の確保に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士による巡回相談の回数の増については、1日の時間数を増やし、対応時間・件数を調整する。また、児童生徒だけではなく、対応にあたる教諭への指導やアドバイスをを行い、学校でのよりよいケアに繋げていく。</li> <li>教育支援指導員による心理検査の実施及び面談を行い、就学先決定後には、保護者に対し再面談(フィードバック)を行うことで、次年度の学びの場への不安解消や、子どもの特性にあった支援方法の改善に繋げる。</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士による巡回相談は月1回4時間を実施することを目標とするが、緊急時や変則的な状況においても対応できるよう臨床心理士の確保に努める。また、児童生徒だけではなく、対応にあたる教諭への指導やアドバイスが出来るよう調整を行い、学校や保護者のケアに繋げ、より充実した事業とする。</li> <li>教育支援指導員(心理検査員)と、保護者や担任面談に関しては、通常同日で行っているが、対象児童生徒の増加により、調整が厳しい状況が多かった。今後は学校や検査員と要相談し、効率良い事業進行に努める。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,977	1,977	1,581	396	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門職へ委嘱しているのが、妥当であったと考えている。</li> <li>○不用額はあったが少額であり、概ね適正な予算規模であった。</li> <li>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

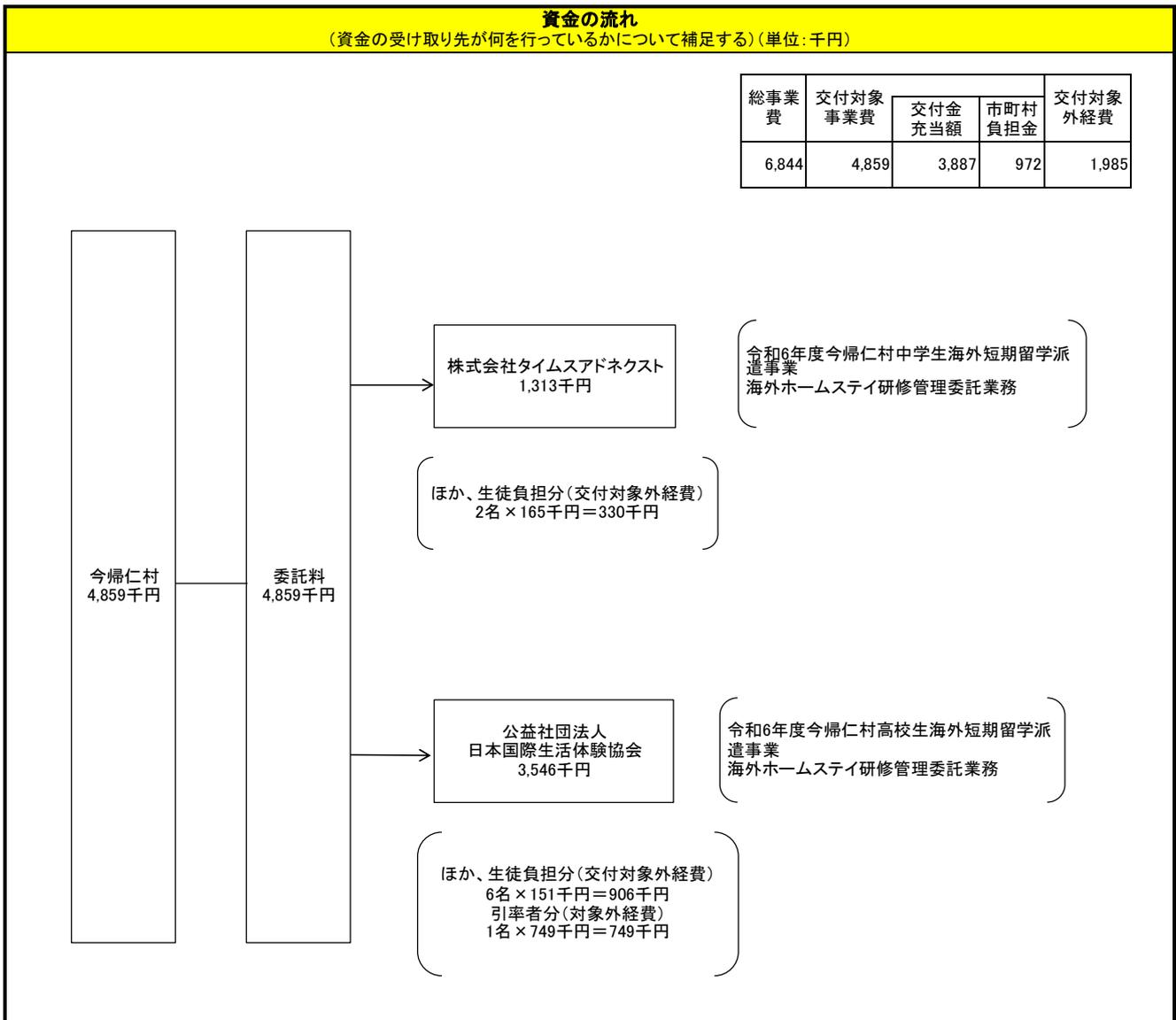
市町村名	今帰仁村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	教育相談事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-5-(2)-イ	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	児童生徒の不登校や問題行動等を改善するため、今帰仁村教育委員会に相談室を設置し、児童生徒のサポート体制の強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,816	1,826	1,826	3,825	5,764
		(b) 予算現額	1,815	1,806	1,826	4,279	6,651
		(c) 増減額(b-a)	-1	-20	0	454	887
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		1,815	1,806	1,826	4,279	6,651
	B. 執行済額		1,815	1,806	1,826	4,112	6,634
	うち交付金充当額		1,452	1,444	1,460	3,233	5,306
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	96.1%	99.7%
予算の状況の説明		会計年度任用職員として採用され、昨年度同様、人勤による遡及払い等人件費が増額となったが、ほぼ当初計画通りに進めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	教育相談事業 今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。		目標 ( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	
			実績 2人	2人	2人	2人	
達成状況説明	不登校児童生徒の学校復帰を応援・支援するため、また、子ども達が安心して過ごせる居場所として、さくらんぼ教室を開設した。さくらんぼ教室に通いながら、学校や保護者等と連携し、学校行事や授業に少しずつ参加できるようになった児童生徒も現れている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒の不登校や問題行動等の課題解決につながったかを含め、学校及び保護者に対するアンケート(80%以上)により本事業のあり方を検証する。		目標 ( )	( 87% )	( 87% )	( 80% )	( )
			実績	89%	90%	90%	
	進捗状況説明	不登校や問題行動等の課題解決に改善が見込まれたと、実績が目標を10%上回っており成果がみられた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・不登校児童に対し、スモールステップの場としてさくらんぼ教室を開設したことで、子ども達が安心して過ごせる居場所が確保された。</p>	<p>・さくらんぼ教室に参加出来ない不登校児童や、問題行動等、課題を抱える児童生徒に対しては、自宅訪問等行い声かけを行い、関係性を深める必要がある。          ・対象児童の保護者を対象にカウンセリング等による支援を行い、不登校の改善を図る。          ・学校、役場など関係機関との連携を密にし、相談員の資質向上のため研修等参加し、スキルアップに繋げる必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も引き続き、多くの児童・生徒、保護者と関わる機会を増やす。さくらんぼ教室への勧誘も継続し、子ども達が安心・安全に過ごせる居場所作りを心がける。また、関係機関と情報を共有し、学習のサポートも出来るよう取り組み方を検討していく。また、数時間でも学校へ行ける子があれば、学校と連携し登校支援を行っていく。</p>		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,634</td> <td>6,632</td> <td>5,606</td> <td>1,026</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,634	6,632	5,606	1,026	2	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,634	6,632	5,606	1,026	2										
<p>今帰仁村 6,634 千円</p> <p>ほか、対象外経費 ( 2千円)</p>	報酬費 4,171 千円	教育相談員:2名	会計年度任用職員											
	職員手当等 1,363 千円	教育相談員:2名 期末手当(6月、12月)	会計年度任用職員											
	共済費 868 千円	教育相談員:2名 社会保険料等	会計年度任用職員											
	旅費 55 千円	教育相談員:2名 通勤手当等	会計年度任用職員											
	役務費 177 千円	教育相談員:2名 電話料	会計年度任用職員											
資金の 流れ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○相談員へ委嘱しているの、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はあったが少額であり、概ね適正な予算規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	今帰仁村						
<b>令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-⑥	中高生海外語学留学支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	国際性豊かな人材を育成するため、留学支援事業を行い、ホームステイを通して外国文化を学び、国際的な視野を持つ人材育成を図る。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,731	2,731	3,828	4,244	4,950
		(b)予算現額			3,282	3,210	4,950
		(c)増減額(b-a)	-2,731	-2,731	-546	-1,034	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		0	0	3,282	3,210	4,950
	B. 執行済額		0	0	2,934	3,210	4,859
	うち交付金充当額		0	0	2,347	2,568	3,887
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		0.0%	0.0%	89.4%	100.0%	98.2%
予算の状況の説明		計画どおり実施し、予算の範囲内で適正に執行できた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	本村今帰仁中学校に在学する中学生2人をハワイ州に、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる。	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
	実績	中止	実施	実施	実施		
達成状況説明	・中学生海外語学留学支援事業 中学生2人 留学先:米国カリフォルニア州 R6.7.25～R6.8.16まで ・高校生海外語学留学支援事業 高校生6人 留学先:米国ジョージア州 R7.2.16～R6.2.27まで ・事業計画どおりに中学生、高校生の海外ホームステイを実施し、目標を達成した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(90%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 90% )	(      )
		実績			100%	100%	100%
進捗状況説明	・帰国後の保護者アンケートで、「生徒の国際的な視野がより広まった」との回答が100%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者及び留学先との調整に時間がかかり、生徒の募集期間が短くなってしまった。</li> <li>・生徒への事前研修や、委託業者及び学校との事前調整を実施し、生徒が海外の文化に安心して触れる環境を構築できたことが目標達成の要因と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者及び留学先との調整をより早期に行い、ゆとりを持った募集期間の設定に努める。</li> <li>・目標の達成に向け、引き続き事前研修や事前調整の内容を精査し、さらなる安心安全な環境の提供に繋げる。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が参加している新聞社が実施する事業に、高校生も参加できないか検討を行う。</li> <li>・安全安心な環境の確保に向け、委託業者や学校とR6年度の事業実施内容を改めて確認するとともに、今年度の取り組みについての調整を密に行う。</li> </ul>		



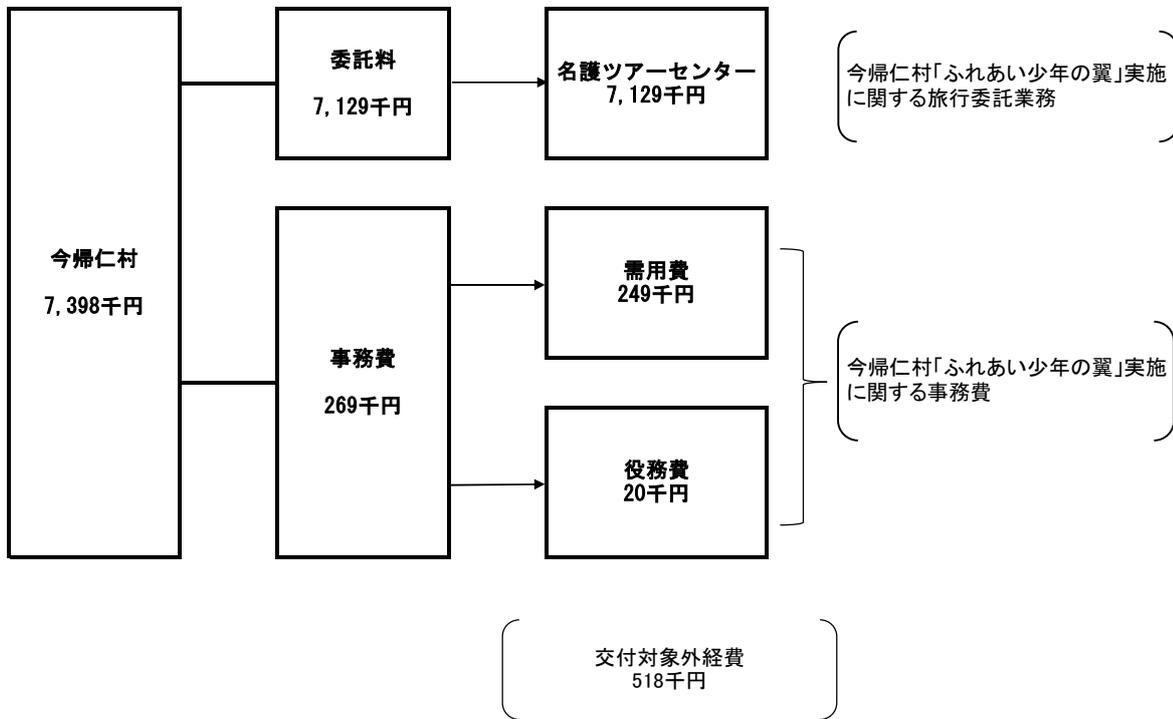
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務について一般競争入札を行い、プログラム等を勘案し入札に適さないと判断したものについては随意契約をおこない海外留学を実施している委託先を選定した。 ○事業内容に見合った経費となっており、予算規模は適正である。 ○総事業費の2割相当額を自己負担(交付対象外経費)としているため受益者負担は妥当であると考えられる。 ○費目・使途については、語学留学支援や、研修費に使用し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	人材育成事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-5-(1)-エ	
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体をはぐくむ教育の推進		
事業内容	村内児童の視野を広げ教養に対する意欲を高めるため、北海道地方において異なる生活環境の体験や児童生徒との交流事業を実施し、将来今帰仁村を担う人材の育成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		5,586	5,586	4,265	6,169	6,169
			0	0	4,859	5,977	7,789
			-5,586	-5,586	594	-192	1,620
			0	0	4,859	5,977	7,789
	B. 執行済額		0	0	4,859	5,407	7,398
	うち交付金充当額		0	0	3,887	4,325	5,918
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		0.0%	0.0%	100.0%	90.5%	95.0%
	予算の状況の説明		当初、委託旅行会社の見積と、社会情勢により、燃料費をはじめとする物価が高騰し委託料に不足が生じるため増額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
	本村小学生を対象に、県外児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。 派遣児童数: 36人	目標	( 36人 )	( 36人 )	( 36人 )	( 36人 )	
		実績	中止	36人	36人	34人	
達成状況説明	・沖縄県外における生活環境や文化に触れ、体験学習や交流を行い見聞を広めることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がったか(90%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 90% )	(      )
		実績		100%	100%	94.2%	
進捗状況説明	・研修へ参加した児童の保護者へアンケート調査を実施した結果、児童の視野が広がったとの回答が得られ、目標値80%を上回る回答結果となった。 ・研修へ参加した児童は、本研修を振り返った作文の提出を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県外での交流を通じて北海道の生活環境や文化など、児童が体験し異文化に対する視野が広がったことが児童を通して保護者へ伝わり80%以上目標値達成の要因と考えられる。	成果目標としている異文化に対する「視野が広がった」80%以上の実現に向け、今後も事前研修でコミュニケーション能力向上、積極性や主体性意識の向上を図り、行程の中や、現地小学校との交流会をとおして自己の成長を自覚することのできる研修のあり方について検討を要する。
<b>今後の取り組み方針</b>		
県外での交流を通じて北海道の特産品や生活環境など、児童から見た異文化に対する視野が広がったが、今回体験することができなかった民泊体験については、今後、現地との調整を図り、実施できるように取り組む。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,916	7,398	5,918	1,480	518



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者については、履行状況及び当該業務に精通した業者を選定し、3社の見積を徴した結果、最も安価となった業者と随意契約を交わし妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模だと考える。 ○小学生を対象とした交流事業を行う目的のための支出であり、関係する書類等を検証した結果適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	環境保全美化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部署名	経済課、建設課、住民課、社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備	
事業内容	観光地として魅力的な景観形成を図るため、本村の観光拠点である今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化作業を実施し、観光客の受入体制を整える。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	32,409	41,765	50,802	52,930	66,290
		(b)予算現額	31,560	37,330	49,249	55,177	66,290
		(c)増減額(b-a)	-849	-4,435	-1,553	2,247	0
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	31,560	37,330	49,249	55,177	66,290	
	B.執行済額	30,311	36,050	41,218	50,036	64,958	
	うち交付金充当額	24,248	28,840	32,974	40,028	51,966	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	96.0%	96.6%	83.7%	90.7%	98.0%	
予算の状況の説明	執行率98%以上であり、適正に執行できたと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	今帰仁城跡及び観光地の美化並びに観光ルートの美化を行う。	目標	観光地及び観光(ルート)の美化作業の実施	観光地及び観光(ルート)の美化作業の実施	観光地及び観光(ルート)の美化作業の実施	観光地及び観光(ルート)の美化作業の実施	
		実績	観光地及び観光ルートの美化作業の実施	観光地及び観光ルートの美化作業の実施	観光地及び観光ルートの美化作業の実施	観光地及び観光ルートの美化作業の実施	
	危険生物(ハブ)の駆除	目標	( 209 匹 )	( 220 匹 )	( 229 匹 )	( 277 匹 )	
実績		258 匹	326 匹	532 匹	489 匹		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>今帰仁城跡、古宇利島を中心とした村内観光地や文化財のある観光ルートの美化作業を実施し、目標を達成した。</li> <li>観光ルートのハブ等駆除対策、不法投棄等/パトロール及び投棄物改修・処理等を実施した。</li> <li>今帰仁城跡、村内文化財及び観光ルート周辺の危険木の伐採を実施し、台風前後に撤去することで被害を少なくできた。</li> <li>世界遺産今帰仁城跡、古宇利島を中心とした観光地及び観光ルートの美化作業を実地することにより、観光客に今帰仁村の魅力を十分に満喫してもらうことができた。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	【成果目標】今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		84.7%	90.5%	95.5%	
進捗状況説明	観光客等に対するアンケート調査の結果、「観光地として魅力的な景観が確保されている」との回答が95.5%となり、コロナ禍以前のように観光客が村内を訪れることが多くなりつつある中、昨年同様、今年度も実績目標値を上回る結果となった。						

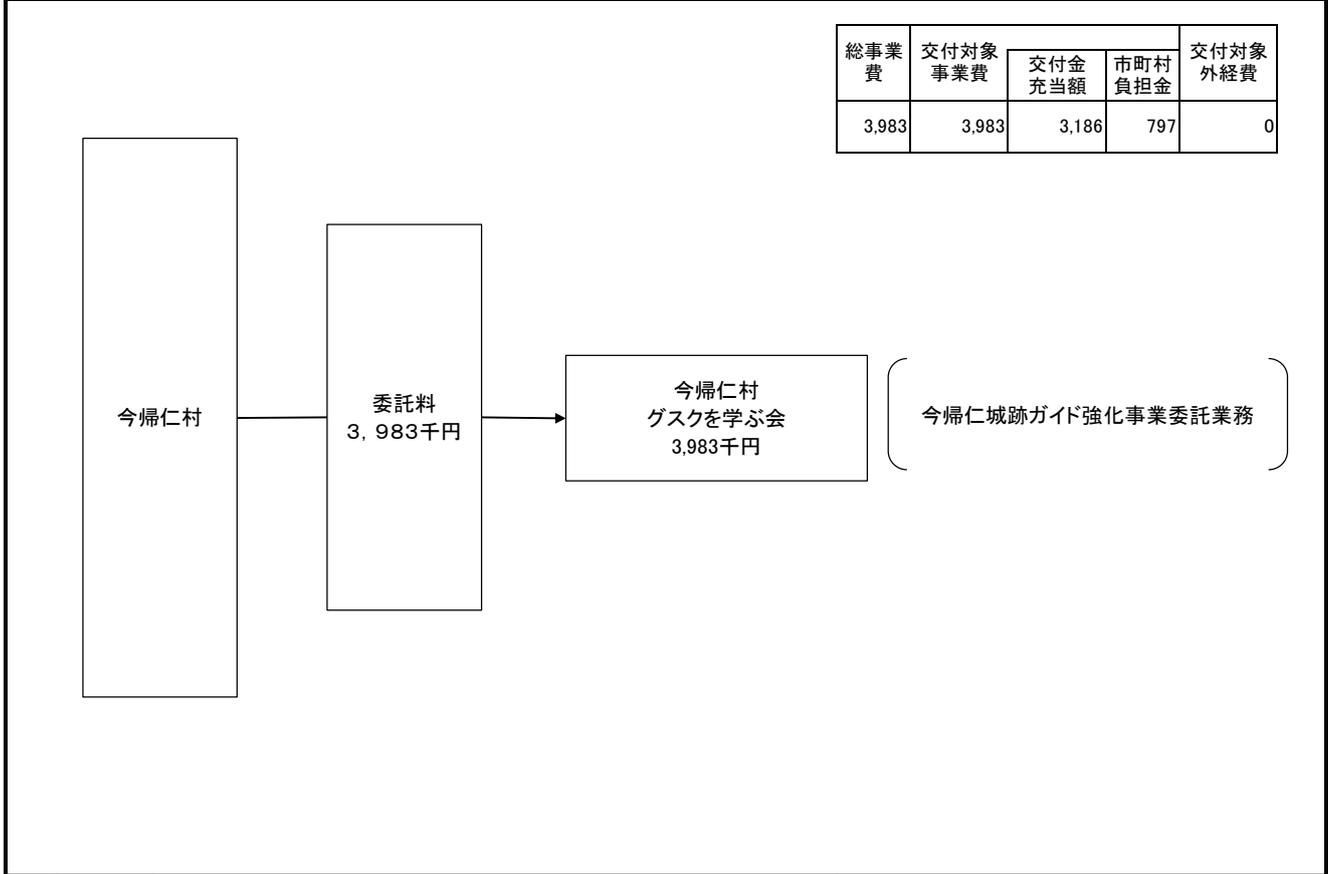
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年観光客が訪れる場所の増加もあり、美化作業を実施する場所も増加した。</li> <li>団体旅行から個人旅行に旅行形態が変化し、レンタカーを用いて行動するようになった事。また、SNSの発信によってこれまで注目を集める事が難しかった小規模の地域内にあるお土産、飲食店等への来訪増加に伴い観光ルートが新たに確立した。そのため、観光客へのアンケートによる満足度が上がったと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客や地域の方からの声を聴き、美化作業場所の参考にする。</li> <li>観光ルートを正確に把握し、不法投棄パトロールや投棄物回収・処理をより強化していく必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>美化作業箇所が増加に対応し、観光地として魅力的な景観を保つため、必要となる作業員数を確保し、計画的に作業を進める。</li> <li>地域住民や区長等からの情報収集によって、安心・安全な観光ルートの美化作業を継続的に実施する。</li> <li>作業人数の調整(班分けなど)や休憩・給水をこまめに行って、作業効率の向上、作業員の体力維持・精神面の安定の両立を目指したい。</li> <li>朝礼にて、想定される事故等の再確認、防止策を共有し、事故防止に努める。</li> </ul>		

資金の流れ																																						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64,958</td> <td>64,958</td> <td>51,966</td> <td>12,992</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	64,958	64,958	51,966	12,992	0																										
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費																																		
64,958	64,958	51,966	12,992	0																																		
今帰仁村 64,958千円	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>報酬 34,941千円</td> <td>→</td> <td>会計年度任用職員 20人</td> <td>( 環境保全美化推進に係る報酬 )</td> </tr> <tr> <td>職員手当 11,902千円</td> <td>→</td> <td>会計年度任用職員 20人</td> <td>( 環境保全美化推進に係る期末手 )</td> </tr> <tr> <td>共済費 6,629千円</td> <td>→</td> <td>会計年度任用職員 20人</td> <td>( 環境保全美化推進に係る共済費 )</td> </tr> <tr> <td>旅費 905千円</td> <td>→</td> <td>会計年度任用職員通勤手当 20人</td> <td>( 環境保全美化推進に係る通勤手 )</td> </tr> <tr> <td>需用費 6,390千円</td> <td>→</td> <td>燃料費及び消耗品等</td> <td>( 環境保全美化推進に係る需用費 )</td> </tr> <tr> <td>使用料 2,954千円</td> <td>→</td> <td>車両リース及び重機使用料等</td> <td>( 環境保全美化推進に係る使用料 )</td> </tr> <tr> <td>委託料 989千円</td> <td>→</td> <td>危険木の伐倒</td> <td>( 環境保全美化推進に係る委託料 )</td> </tr> <tr> <td>原材料費 58千円</td> <td>→</td> <td>道路補修材料等</td> <td>( 環境保全美化推進に係る原材料費 )</td> </tr> <tr> <td>備品購入費 190千円</td> <td>→</td> <td>刈払い機等</td> <td>( 環境保全美化推進に係る備品購入費 )</td> </tr> </tbody> </table>	報酬 34,941千円	→	会計年度任用職員 20人	( 環境保全美化推進に係る報酬 )	職員手当 11,902千円	→	会計年度任用職員 20人	( 環境保全美化推進に係る期末手 )	共済費 6,629千円	→	会計年度任用職員 20人	( 環境保全美化推進に係る共済費 )	旅費 905千円	→	会計年度任用職員通勤手当 20人	( 環境保全美化推進に係る通勤手 )	需用費 6,390千円	→	燃料費及び消耗品等	( 環境保全美化推進に係る需用費 )	使用料 2,954千円	→	車両リース及び重機使用料等	( 環境保全美化推進に係る使用料 )	委託料 989千円	→	危険木の伐倒	( 環境保全美化推進に係る委託料 )	原材料費 58千円	→	道路補修材料等	( 環境保全美化推進に係る原材料費 )	備品購入費 190千円	→	刈払い機等	( 環境保全美化推進に係る備品購入費 )	<p style="text-align: center;">( ほか、交付対象外経費 362円 )</p>
報酬 34,941千円	→	会計年度任用職員 20人	( 環境保全美化推進に係る報酬 )																																			
職員手当 11,902千円	→	会計年度任用職員 20人	( 環境保全美化推進に係る期末手 )																																			
共済費 6,629千円	→	会計年度任用職員 20人	( 環境保全美化推進に係る共済費 )																																			
旅費 905千円	→	会計年度任用職員通勤手当 20人	( 環境保全美化推進に係る通勤手 )																																			
需用費 6,390千円	→	燃料費及び消耗品等	( 環境保全美化推進に係る需用費 )																																			
使用料 2,954千円	→	車両リース及び重機使用料等	( 環境保全美化推進に係る使用料 )																																			
委託料 989千円	→	危険木の伐倒	( 環境保全美化推進に係る委託料 )																																			
原材料費 58千円	→	道路補修材料等	( 環境保全美化推進に係る原材料費 )																																			
備品購入費 190千円	→	刈払い機等	( 環境保全美化推進に係る備品購入費 )																																			
資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明																																			
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○見積価格などを踏まえ支出先を選定しているため妥当である																																			
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要なものに限定しているため適正な規模である																																			
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。																																			
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																																				

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	今帰仁城跡ガイド強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成		
事業内容	今帰仁城跡への来場者に無料案内ガイドをおこなうことで、来場者の満足度も向上し今帰仁村の観光産業にも寄与することができる。また、講演会や研修会を実施しガイドメンバーが研鑽に努めることで、ガイド内容の質向上が見込まれ観光地としての満足度および付加価値を高める。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	(a) 当初予算額	4,000	3,700	4,000	3,967	3,983	
	(b) 予算現額	3,520	3,700	4,000	3,967	3,983	
	(c) 増減額(b-a)	-480	0	0	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	3,520	3,700	4,000	4,042	4,042	
	B. 執行済額	3,520	3,626	3,700	3,967	3,983	
	うち交付金充当額	2,816	2,901	2,960	3,174	3,186	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.0%	92.5%	98.1%	98.1%	
予算の状況の説明	当初予算のとおり計画通りに事業及び予算執行が出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来場者に無料の案内ガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることでガイド個々の資質向上が図られ、世界遺産今帰仁城跡の魅力を観光客にアピールすることができるため、ガイドの強化を行う。	目標	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施
	実績	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会、研修会の実施	
達成状況説明	令和6年度は、臨時休業や団体予約の大幅なキャンセルはなく、案内ガイド事業を実施することができた。今年度実施した歴史文化講座(11/2から11/22までの期間で全4回のべ20名参加)を通してガイド内容の質向上が図られている。なお、学ぶ会では月に1度定例ミーティングが行われており、ガイド間では情報共有やガイド長期経験者による新規ガイドサポート教育を実施するなど、随時ガイドの教育が行われている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
			(      )	( 11,000名 )	( 10,000名 )	( 10,000名 )	(      )
	ガイドによる来訪者の案内 10,000名	実績		11,049名	9,699名	9,468名	
進捗状況説明	昨年度に比べ、修学旅行や団体の来場状況も徐々に回復し、全体の来場者数は198,292名となった。しかしコロナ前(令和元年度以前)に比べると8割に達していない。令和6年度は、歴史文化センターの展示内容について研修を実施し、研鑽を積んだ。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>令和6年度はコロナ禍の影響も少なくなり、修学旅行や一般団体客の来場が徐々に回復してきている。しかしまだ大幅な増加は無く、全体の来場者数はコロナ前(令和元年以前)に比べると8割に達していないため、成果目標が未達成となった。</p> <p>令和6年度は、ガイドの人数が5人減少した。高齢化問題の解消はまだ厳しい状況である。</p>	<p>来場者が増加することで無料案内ガイドの利用者も増えることが期待できるため、学ぶ会HPでも取り上げるなど、来場者数の増加に向けて取り組む。また、村全体としても観光促進のPRをしてもらい、来場者数の増加につなげる。</p> <p>これまで村主催の「歴史文化講座」の受講修了者に対してガイド登録を行ってきたが、会員の高齢化問題への対策が急務となってきたため、新規ガイド希望者について、長期経験者によるサポート教育を行っていく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
令和7年度も引き続き講演会や研修会を通して、ガイド内容の質向上と各々の更なるスキルアップを図る。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者である「今帰仁グスクを学ぶ会」は、ガイド業務について10年以上の実績があり、業務の計画や現場の状況に詳しく、この主の業務に精通した人員を擁していることから、入札に適さないものと判断し随意契約をしているため、委託先として妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、観光客の増加に伴い予算増を検討する必要があるが、現状では適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○支出に関する書類を随時確認しており適正に支出されていると確認できており問題ない。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	今帰仁村着地型観光推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	経済課		事業実施(予定)年度	令和元年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	着地型観光の促進及び滞在日数増やすため、本村の豊かな自然と歴史文化を体験できる活動を取り入れ、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育旅行民泊客の増加及びリポート校の確保を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,727	20,990	19,790	16,807	15,491
		(b) 予算現額	14,247	20,990	19,790	16,807	15,679
		(c) 増減額(b-a)	2,520	0	0	0	188
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	14,247	20,990	19,790	16,807	16,807	
	B. 執行済額	14,247	20,290	19,350	16,807	15,679	
	うち交付金充当額	11,397	16,232	15,480	13,445	12,543	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	96.7%	97.8%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の事業費より、増額はあったが概ね計画取りに事業を進めることができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	新しい生活様式に沿った民泊受入の実施(民泊家庭を対象とした、開発した教育プログラム等の講習会)	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	専属職員の配置	目標	( 3名 )	( 3名 )	( 3名 )	( 3名 )	
		実績	5名	3名	3名	3名	
	県内外での誘致活動	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
実績		実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの対応緩和に伴い、コロナ前同様の講習会を行った。</li> <li>・専属職員を当初の目標通り配置することができた。</li> <li>・県外での誘致活動は営業のみではなく、次年度来村予定の学校にて事前学習授業を行ったりオンラインを活用し事前学習を行った。また、パンフレットや手引き等を、県外の旅行社や学校へ送付を行った。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
			( )	( )	( )	( )	
	民泊次年度予約数	目標	( )	( 16,000人 )	( 11,000人 )	( 13,500人 )	( )
		実績	( )	( 70校 )	( 56校 )	( 70校 )	( )
	2泊5食プランの増加	目標	( )	( )	( )	( 2件 )	( )
		実績	( )	( )	( )	( 20件 )	( )
	リポート校の増加	目標	( )	( )	( )	( 2件 )	( )
実績		( )	( )	( )	( 20件 )	( )	
進捗状況説明	新型コロナ禍における令和6年度の予約目標は、コロナにより教育旅行の行先に変化が出始めた事を受け、R5年実績同等の値を適正値と見なし成果目標としたが、誘致活動やプロモーション予約延べ人数は目標を達成することはできなかった。 2泊5食およびリポート校の増加については、事前に案内をしていたことで目標を達成することができた。						

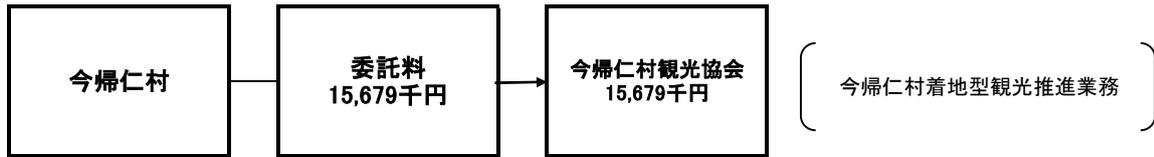
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	業務においては、教育民泊旅行者がコロナ前に戻りつつあるが、コロナ前に比べ受入民泊家庭の数が減っている。	教育旅行者の受入態勢を整えるため、休眠となっている民泊家庭や新規民泊家庭への周知として本村の広報誌やデジタルサイネージを活用して、周知活動をおこなった。

**今後の取り組み方針**

民泊自体がSDGs(持続可能な開発目標)と捉え、世界遺産今帰仁城跡や村内の集落や戦争遺構などの地域環境を活かしたプログラムも視野に入れ、教育旅行民泊の満足度向上を目指し、リピート校を始め受け入れ校の増加を図る。  
また、コロナ禍の影響に伴うオンラインでの事前学習に着目し、事前学習に関与出来る可能性を探り、今帰仁民泊の満足度を高めリピート率の向上を図り、民泊の予約数の増加につなげる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,679	15,679	12,543	3,136	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業者は、本村の教育旅行民泊を担っている事業所で十分な実績があり、入札に適さないことから随意契約としており妥当である。</li> <li>・予算規模については委託業者から見積書を徴し、事業目的を達成するために必要な委託費であり、適正であった。</li> <li>・使途について、精算時に事業目的達成の観点から内容を確認し、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	経済課		事業実施(予定)年度	令和3年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	村内宿泊滞在者を増やすため、宿泊を伴う地域資源を活かした体験プログラムを創出し、村内宿泊者の増加を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,000	27,794	25,754	21,021	
		(b) 予算現額	25,000	27,794	25,754	22,639	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	1,618	
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		25,000	27,794	25,754	22,639	
	B. 執行済額		25,000	27,794	25,754	22,639	
	うち交付金充当額		20,000	22,235	20,603	18,110	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		計画に沿って事業を実施できたので適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	宿泊及び体験プログラムの創出	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	情報発信	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
ガイド育成	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )		
	実績	実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本村の地域資源を活かした体験プログラム及び宿泊プランを創出すると共に磨き上げ、モニターツアーを行った。</li> <li>・体験プログラムの改良・改善及び人材育成の観点と地域への理解を含め、村民への体験会を行った。</li> <li>・プログラム創出に伴い、トレーナー・セラピストの人材育成を行った(初級講座/中級講座の実施)。</li> <li>・独自セミナーを2回開催(首都圏1回、県内1回)し情報発信及びモニターツアー参加募集を行った。</li> <li>・沖縄コンベンションビューローの動向調査資料が入手出来る事により、当該情報より動向及び宿泊に関する把握を行った。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	ガイド(人材)育成	目標	( )	( 20件 )	( 20件 )	( 20件 )	( )
		実績		29件	14件	18件	
	提携企業3社	目標	( )	( )	( )	( 3社 )	( )
		実績				0社	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度のアンケート調査によりターゲット変更後、販売活動は令和5年度より行い、体験プログラムをブラッシュアップし令和6年度はHPIにも掲載、正式に販売開始した。また、ガイド育成にも力を入れ体験プログラムでデビューし、新しい雇用を生み出す一歩となった。引き続きウェルネスプログラムのプロモーション及びガイド育成に力を入れ取り組む。</li> <li>・企業を対象としたプログラムを創出し、モニターツアーを行ったが目標を達成することができなかった。</li> </ul>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き企業に向けた取り組みを実施する中、本格的なサービスインに向け、態勢面の整理を行った。企業提携も含め整理した内容を元R7年は強化に務める。</li> <li>人材育成については、質の高い育成を目指し講習会6日間の必須受講としている要件(条件)としている。問い合わせは多数あるものの、当該要件を満たす応募者が想定より少なかったことが、成果目標未達成となった要因であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今帰仁村の観光に対するコンセプトを設定し、引き続き村の魅力や特徴を伝わりやすくしていく。企業提携を達成するためにもプロモーション強化や営業活動にも力を入れ取り組む。</li> <li>成果目標達成に向け、村の広報誌やホームページ・SNSなど情報配信の強化をはかる。また、人材育成の観点では、この3年間で修了者61人を排出しており、今後は修了者から「今帰仁ちゅーなー」の認定に結びつける活動を実施する。(ステップアップ講座開催、村民体験会の場を増やすなど)</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>創出した体験プログラムの継続的な磨き上げの実施(プログラム内容の深堀)に取り組む。</li> <li>村広報誌やホームページの活用やSNSなどを活用して人材確保の取組に力を入れる。また、質に拘った継続的な人材育成の実施(ステップアップ講座の開催、ガイド訓練の場づくり)に取り組む。</li> <li>身体的精神的社会的に目指す概念としてよりよく生きていけるよう(ウェルネス)に寄与する宿や食も含めた地域事業者との連携強化に取り組む。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,638	22,638	18,110	4,528	0



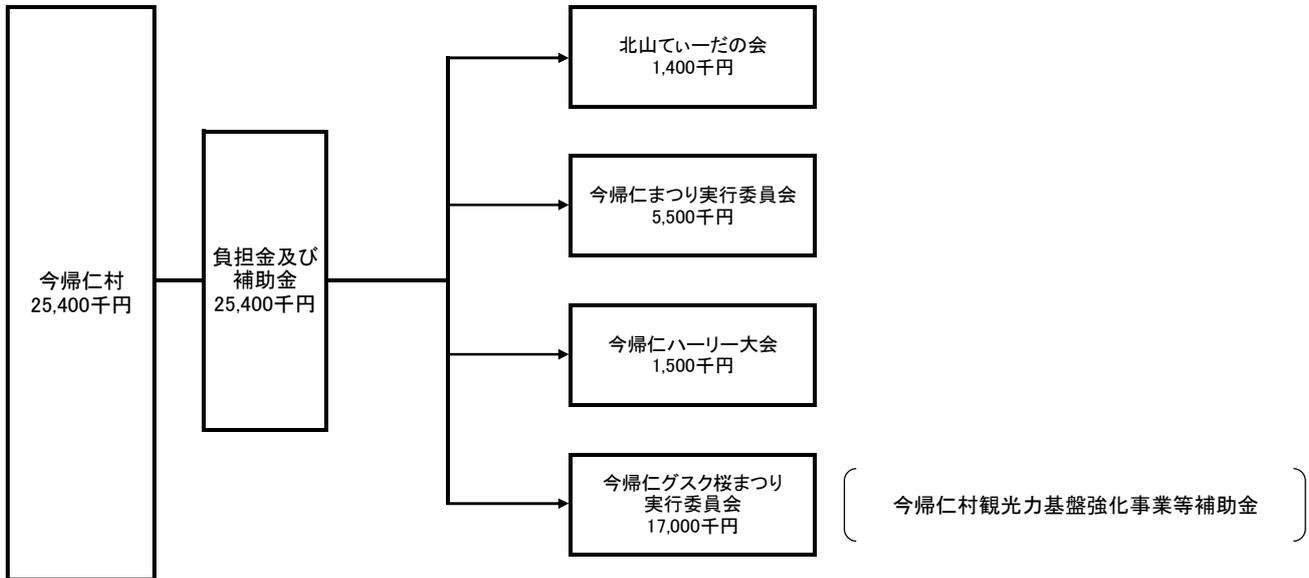
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託事業者は、本村の観光事業者とのネットワークのある事業所で十分な実績があり、入札に適さないことから随意契約としており妥当である。</li> <li>予算規模については委託業者から見積書を徴し、事業目的を達成するために必要な委託費であり、適正であった。</li> <li>用途について、精算時に事業目的達成の観点から内容を確認し、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤		観光力基盤強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)	
	担当部課名	経済課		事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進
事業内容		今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、今帰仁まつり、ハーリー大会、桜まつり等の実施に対して補助する。また、今帰仁村の各施設を拠点にイベントを開催することで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,962	15,000	27,600	27,400	25,400
		(b) 予算現額	2,000	19,000	18,800	27,400	25,400
		(c) 増減額(b-a)	-20,962	4,000	-8,800	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		2,000	19,000	18,800	27,400	25,400
	B. 執行済額		2,000	15,478	17,999	26,900	25,400
	うち交付金充当額		1,600	12,382	14,399	21,520	20,320
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	81.5%	95.7%	98.2%	100.0%
予算の状況の説明		・【現代版組踊 北山の風、今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、今帰仁グスク桜まつり】計画通りに事業及び予算執行が出来た。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	現代版組踊「北山の風」への補助	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施(12月)	実施(1月、2月)	実施(11月、1月)	実施(11月、2月)	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつりへの補助	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施(1～2月)	実施(1月)	実施(1月)	実施(1～2月)	
	今帰仁まつりへの補助	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	開催中止	開催中止	実施(8月)	実施(8月)	
	今帰仁ハーリー大会への補助	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	開催中止	開催中止	開催中止	実施(9月)	
達成状況説明		・【現代版組踊「北山の風」】2回の定期公演を実施し活動目標を達成した。 ・【今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、今帰仁グスク桜まつり】活動目標を達成出来た。					
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	現代版組踊「北山の風」来場者数	目標	( )	( 1,135人 )	( 1,150人 )	( 1,150人 )	( )
		実績		1,278人	1,249人	969人	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数	目標	( )	( 31,500人 )	( 27,000人 )	( 30,000人 )	( )
		実績		27,215人	25,309人	34,351人	
	今帰仁まつり来場者数	目標	( )	( 10,300人 )	( 10,500人 )	( 10,300人 )	( )
		実績		開催中止	12,000人	12,000人	
	今帰仁ハーリー大会来場者数	目標	( )	( 770人 )	( 770人 )	( 770人 )	( )
		実績		開催中止	770人	850人	
	進捗状況説明		・【今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会】成果目標を達成した。 ・【現代版組踊「北山の風」】雨天の影響により会場の変更があったため入場者数が減となり、成果目標を達成できなかった。 ・【今帰仁グスク桜まつり】桜の開花時期と祭り期間が上手く重なり来場者増となった。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・【現代版組踊「北山の風」】 年2回の公演の内、1回は野外ステージでお客さんをお呼び込む予定が、雨天の為屋内での公演になった為、目標人数に達しなかった。</p> <p>・【今帰仁グスク桜まつり】 桜まつりの開催時期を1週間ずらし、開花時期に合わせて開催したため来場者の増加に繋がった。</p> <p>・【今帰仁まつり・今帰仁ハーリー大会・今帰仁グスク桜まつり】 ホームページやチラシ、ポスターなどで村内外に広く周知したことにより、目標より多くの来場者数があった。</p>	<p>・【現代版組踊「北山の風」】 雨天時のリスクも鑑み、お客さんが多く入るホール(又は体育館)を抑える。また、雨天時は予備日を設ける等調整する。</p> <p>・【今帰仁グスク桜まつり】 今回マイクロバスを増便し、一定の渋滞、路駐対策を解消出来たが来場者の待ち時間短縮をするため更なるマイクロバスの増便を検討したい。乗車場所を変更したことで、回転率を上げることが出来たため、交通渋滞や、待ち時間を短縮回りたい。</p> <p>・【今帰仁まつり・今帰仁ハーリー】 会場近くの駐車場が満車になることを想定し、交通整理員を増員し他の駐車場にスムーズに案内できるように検討する。</p>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>【現代版組踊「北山の風」】・村内のイベントなどで出演を提案し、SNSでの認知度向上や地元の学校・団体とも連携した企画を提案していく。雨天で来られない人のためにインスタライブなどで生配信も検討していきたい。</p> <p>【今帰仁グスク桜まつり】・目標以上の来場者があったため、今後は平日に来場者を分散出来るように、平日限定のイベントを組み込んでいく。</p> <p>【今帰仁まつり】・会場における交通誘導員を増やし、スムーズな案内をおこなうことで来場者の安全も図る。</p> <p>【全体】・観光地として選ばれる地域になるためより一層充実したイベントの運営をおこない、来場者が安全にイベントを楽しむことができるように体制整備を図り、リピート率が高まるように引き続きイベントを企画する。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
25,400	25,400	20,320	5,080	0



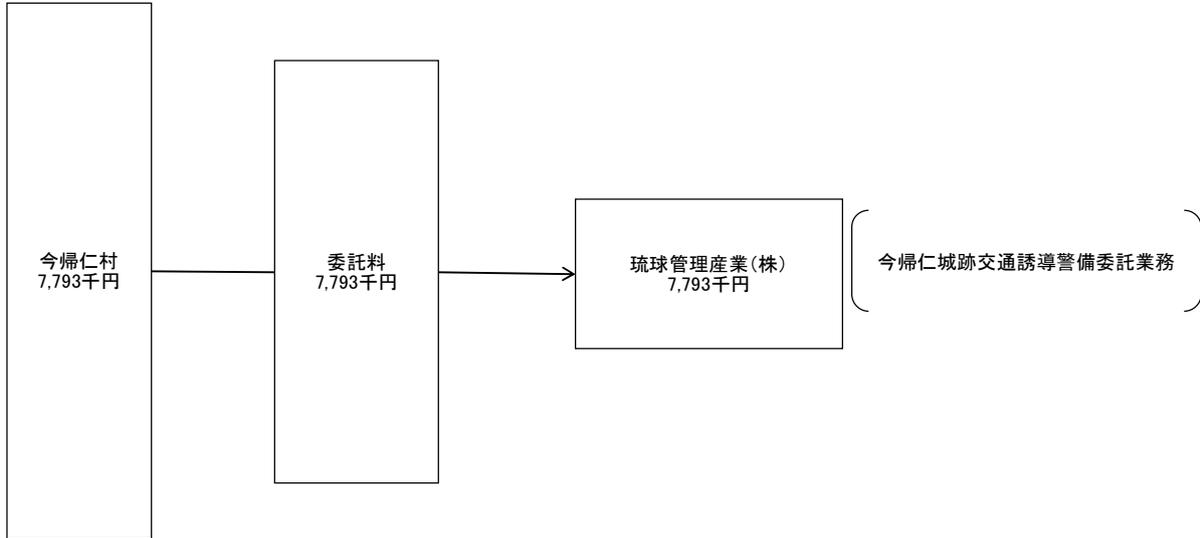
資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○イベントを開催する実行委員会に限定し、選定を行っており妥当な選定だと考える。 ○予算規模については、各実行委員会でのイベントに見合った適正な規模であった。 ○各イベントの事業目的達成の観点から、費用額及び使途については必要なものであり、支出は適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	観光地安全強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ態勢の整備		
事業内容	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保を図るため、繁忙期及びイベント時の車両誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置することでスムーズに交通誘導ができ、安心・安全に配慮することができることで満足度も高まり観光の振興も図れる。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,189	4,169	6,411	6,340	6,435
		(b) 予算現額	4,169	4,667	6,411	6,340	7,794
		(c) 増減額(b-a)	-20	498	0	0	1,359
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	4,169	4,667	6,411	6,340	7,794
	B. 執行済額		4,169	3,820	6,385	6,318	7,793
	うち交付金充当額		3,335	3,056	5,108	5,054	6,234
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	81.9%	99.6%	99.7%	100.0%
予算の状況の説明		・個人客の増加に伴い、桜まつり終了後も多くの車両の交通が見込まれたため、予算を増額し警備期間、警備人数を追加した。 R4年度2月:31,391人(個人:20,478人、団体:2,327人、他) R5年度2月:31,301人(個人:24,616人、団体:1,846人、他)					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標		交通整理員の配置(12月～2月)	交通整理員の配置(12月～2月)	交通整理員の配置(1月～2月)	交通整理員の配置(12月～2月)	
	実績		交通整理員の配置(12月～2月)	交通整理員の配置(12月～2月)	交通整理員の配置(1月～2月)	交通整理員の配置(1月～2月)	
達成状況説明	・個人客の増加に伴い、桜まつり終了後も多くの車両の交通が見込まれたため、予算を増額し警備期間の延長及び警備人数を追加し対応することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件		目標( )	( 0件 )	( 0件 )	( 0件 )	( )
	実績			0件	0件	0件	
	進捗状況説明	世界遺産である今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保を図るため、交通整理員を配置することにより、配置箇所における事故件数は0件となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	個人客の増加もあり、周辺道路での渋滞が発生していたが、警備業者と事前に現場での打ち合わせを行い、導線の確認や、駐車場のロータリー運用を実施したため、比較的スムーズに誘導することができた。警備業者と事前に現場での打ち合わせをしたことが成果目標を達成できた要因であると考えられる。	・近年の個人客増加に伴い、往来する車両数が増加している。R7年7月にはジャングリアが開園する。様々な環境の変化を注視し、警備員配置の適正人数を判断する必要がある。 ・繁忙期の来場者数を分散させる取り組みの検討が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各駐車場の配置人数は年数を重ねるごとに良くなっており最善に近い形ではあるが、様々な環境の変化を注視し、警備業者も含め入念に確認する。</li> <li>施設駐車場と臨時駐車場の距離が離れているため、施設駐車場が満車時に臨時駐車場へスムーズに誘導できるように、関係者で検討し実施する。</li> <li>土日に限り入場を予約制、臨時駐車場からのシャトルバスのみ来場できる対策等も検討し実施する。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
7,793	7,793	6,234	1,559	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般競争入札を行ったが、入札者がいなかったため、随意契約を締結。 ○予算規模については、過去事例と比較しており、適正な規模である。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即しているものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑦	今帰仁城跡周辺環境整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和12年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川の整備を行うことで魅力的な村として観光振興に繋がる。							
効果発現年度	■当年度                      ■後年度(令和13年度)							
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    ■その他(補償費)							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	100,000	53,000	52,000	50,544	50,412	
		(b)予算現額	79,111	38,027	94,245	49,918	48,912	
		(c)増減額(b-a)	-20,889	-14,973	42,245	-626	-1,500	
		(d)繰越額						
	A. 計(b+d)		79,111	38,027	94,245	49,918	48,912	
	B. 執行済額		79,111	38,027	92,435	49,918	48,900	
	うち交付金充当額		101,608	30,421	30,421	73,948	39,120	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		事業費1,500千円を減額したが、おおむね計画に沿って事業を執行できたので適正であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	河川改修工事の実施		目標 (右岸工事 L=45m)	(右岸工事 L=70m)	(右岸工事 L=42m)	(左岸工事 L=36m)		
			実績 右岸工事 L=45m	右岸左岸工事 L=68m	右岸工事 L=29m	左岸工事 L=29m		
達成状況説明	・令和6年度は、河川延長1,120mのうち河川整備工事(右岸L=29.29m)を実施。							
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R13年度)	
	全体計画における3.2%整備(累積整備率75.9%)		目標	( )	(L=70 累計整備率70.3%)	(L=42 累計整備率73.8%)	(L=36 累計整備率75.9%)	( )
			実績	/	(L=45 累計整備率64.0%)	(L=68 累計整備率70.1%)	(L=29 累計整備率72.7%)	/
	【R13成果目標】魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標	( )	( )	( )	( )	(80%)
			実績	/	/	/	/	/
進捗状況説明	・河川延長1,120mのうち河川整備工事(左岸L=29.29m)を実施し、全体計画における整備率2.6%(29m/1,120m)を達成、目標についても概ね達成することができた。累計延長843mとなり75.3%実施済みとなった。							

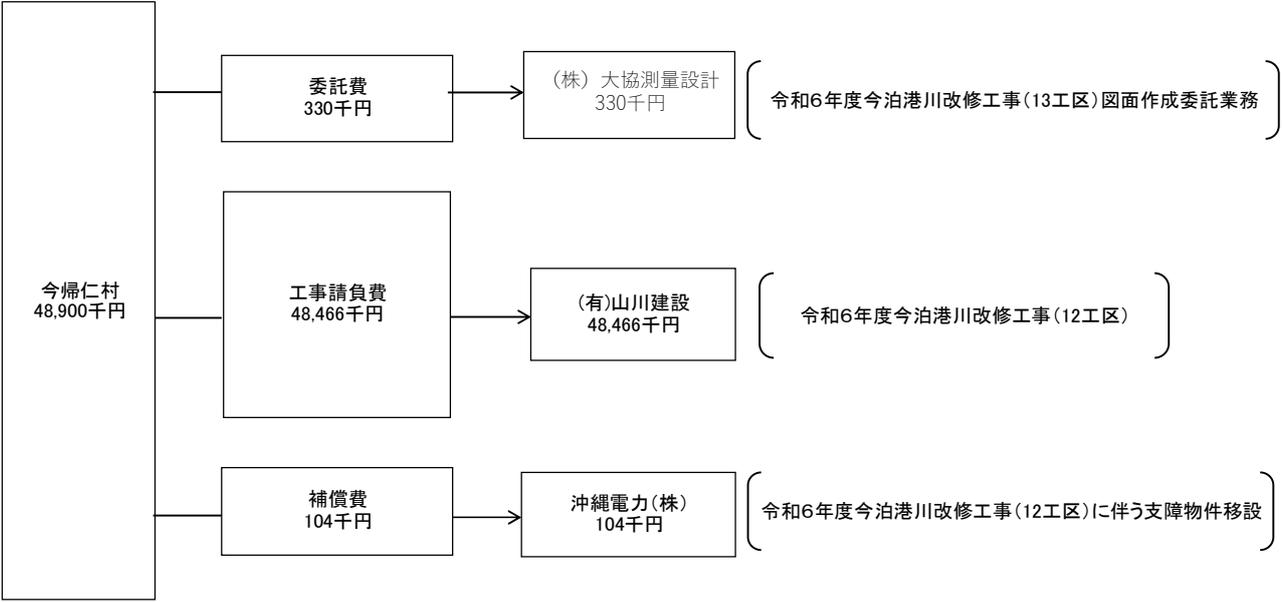
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、県道と村道の交差点付近となっていることから、一般交通車両の安全面を十分配慮して、施工を行う必要がある。また、県道の道路管理者等、関係機関との調整を早期に行い、スムーズに整備が行える環境を整える。</li> <li>・成果目標の未達成の原因は、設計書の精査及び現場照査を行ったところ金額が増となり、当初予定していたより施工延長が短くなったためである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との調整のみではなく、工事箇所周辺の地権者との調整も早期に行い、滞りなく工事が行えるよう努める。</li> <li>・現場状況を把握し、設計書を精査した上で当初予定通りの施工ができるよう努める。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・現場を都度確認すること、また、これまでの工事であった変更箇所等を勘案し、設計書を精査する。  
 ・令和7年度は13工区間(右岸側L=31.0m)を予定していることから、7月までに設計積算、8月現場説明～入札を実施し、9月初旬の工事契約を目指す。また、関係機関や地権者との調整を早期に行い、早期着工、完成を目指す。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
48,900	48,900	39,120	9,780	0



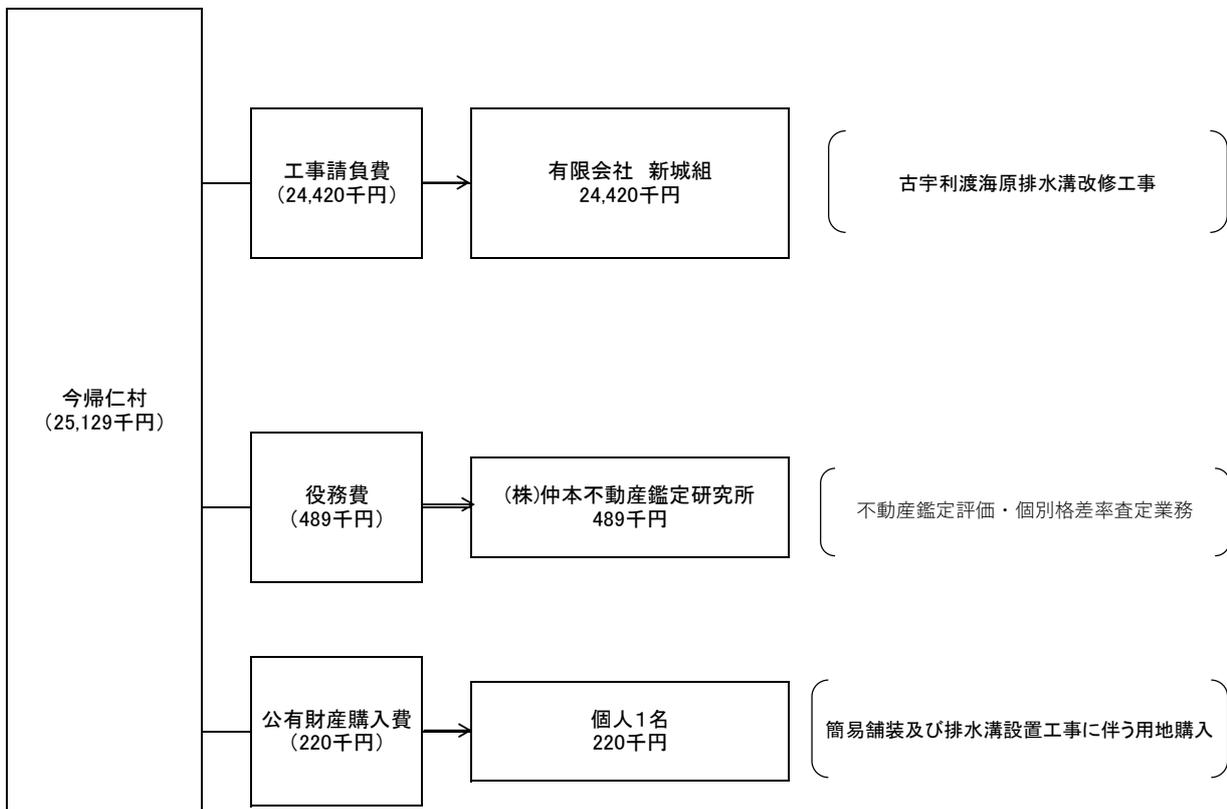
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工事業者に関しては、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。</li> <li>○予算規模については、予算内で工事発注することができたことから、適正規模であった。</li> <li>○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧	景観形成強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	快適で魅力ある観光まちづくりの推進	
事業内容	魅力的な景観形成を図るため、観光ルート且つ昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行うことで魅力的な村として観光振興を図る。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度( R9 年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	(a) 当初予算額	61,119	12,011	10,571	40,000	40,000	
	(b) 予算現額	56,174	12,011	8,964	40,000	25,349	
	(c) 増減額(b-a)	-4,945	0	-1,607	0	-14,651	
	(d) 繰越額					0	
	A. 計(b+d)	56,174	12,011	8,964	40,000	25,349	
	B. 執行済額	44,162	6,762	8,140	29,716	25,129	
	うち交付金充当額	35,330	5,409	6,512	23,773	20,103	
	次年度繰越額					0	
	執行率(%) (B/A)	78.6%	56.3%	90.8%	74.3%	99.1%	
予算の状況の説明	簡易舗装ができなかったため、工事請負費12,937千円、委託料1,000千円3月補正で減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
	観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備とそれに伴う設計・測量、用地補償を行う。 ・排水溝改修工事 ・簡易舗装及び排水溝設置工事	目標	( 用地補償排水路工事 )	( 簡易舗装及び排水溝設置工事に係る測量設計委託 )	( 排水溝改修工事・測量設計委託業務・地積測量委託業務 )	( 簡易舗装及び排水溝改修工事 )	
		実績	用地補償排水路工事	簡易舗装及び排水溝設置工事に係る測量設計委託	排水溝改修工事・測量設計委託業務・地積測量委託業務	排水溝改修工事	
達成状況説明	排水溝改修工事を実施した。簡易舗装等実施に至らず目標を達成できなかった。目標を達成するため令和7年度以降も継続していく。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R9年度)	
	排水溝改修工事の完了 測量設計委託の実施	目標	( )	( 設計委託の完了 )	( 工事の完了設計委託の実施 )	( 工事の完了設計委託の実施 )	( アンケートの実施 )
		実績		設計委託の完了	工事の完了設計委託の実施	工事の完了設計委託の実施	
	魅力的な景観形成が図られたか観光客等にアンケートを実施	目標	( )	( )	( )	( )	( 80% )
実績							
進捗状況説明	排水溝改修工事を実施した。(2工区) 3工区以降も目標を達成するため令和7年度以降も継続して行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	排水溝改修工事では観光スポットの近くであり、車両や観光客の往来が多い。安全性を確保しながら施工する必要があった。	県内入域観光客数を参考に工事発注時期の設定を再検証し、工事施工及び観光客への影響を最小限に抑える必要がある。
今後の取り組み方針		
(排水溝改修工事) 入域観光客数が減少する9月の工事発注を目指し作業を進める。 (簡易舗装及び排水溝設置工事) 地権者との交渉を5月～7月に済ませ、8月の工事発注を目指す。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
25,129	25,129	20,103	5,026	0



資金の 用途の 流れ 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の契約規則に基づき、工事請負業者は指名競争により入札を行い、妥当であった。 ○予算規模は設計額に基づき発注しており適正な規模であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(7)-ア		
	担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、今帰仁村和牛改良組合による沖縄県農業協同組合からの優良繁殖雌牛(貸付牛)の導入に対して支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		(a) 当初予算額	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500
	(b) 予算現額	10,087	10,330	10,251	10,167	10,483	
	(c) 増減額(b-a)	-413	-170	-249	-333	-17	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	10,087	10,330	10,251	10,167	10,483	
	B. 執行済額	10,087	10,330	10,251	10,167	10,483	
	うち交付金充当額	8,069	8,264	8,200	8,133	8,386	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初計画(21頭)よりも3頭増の計24頭の優良繁殖雌牛を導入し、執行残(249千円)は他事業へ流用した。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	21頭導入		目標 ( 21頭 )	( 21頭 )	( 21頭 )	( 21頭 )	
		実績	22頭	22頭	24頭	26頭	
達成状況説明	当初計画(21頭)よりも3頭増の計24頭の優良繁殖雌牛を導入し、1頭あたり50万円を上限に支援を行った。(平均1頭43万円)						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合105%以上		目標 (    )	( 110% )	( 105% )	( 105% )	(    )
			実績	103%	93%	98%	
進捗状況説明	成果目標達成とはならなかったが、導入牛からの子牛と導入牛以外の子牛との価格差は98%と前年度比で上昇した。セリ価格自体は物価高騰及び和牛消費低迷の影響により前年度比で下落している。 【R6年度セリ結果(R6.4月～R7.3月)】 ・導入牛以外の子牛 平均 649,369円 ・導入牛(H26～R5)の子牛 平均 634,222円						

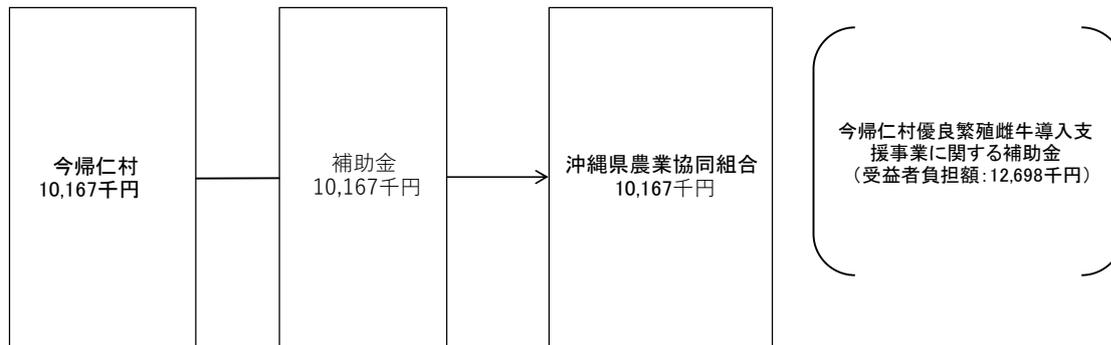
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今の物価高騰及び和牛消費低迷の影響により、セリ価格が下落している状況が続いている。</li> <li>・雌子牛導入後、母牛の登録時に登録点数が伸び悩んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良雌牛を導入し、更なる牛の品質の向上及び老廃牛更新の為に、引き続き未導入農家やこれまでに導入頭数の少ない農家に説明を行い、今一度認識してもらい事業実施する。</li> <li>・母牛の登録点数を上げる為、導入時点での候補牛の目利き(体格等)や血統確認を今以上におこなう。また、導入後の飼育管理を徹底することで適切な成長促進を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。
- ・多くの農家へ導入支援ができるよう未実施農家への情報提供を積極的に行う。
- ・更なる母牛の更新、母牛得点の向上を図りつつ、将来にわたって継続的かつ安定的な生産地の確立に繋げるため事業導入牛の優良系統を引き継ぐ産子の保留を推進していく。
- ・最終的にセリ結果に反映する為、母牛の得点向上を図ることは必要不可欠である。その為、導入時における候補牛の目利き(体格)や血統確認を更に行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,865	10,167	8,133	2,034	12,698



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先の沖縄県農業協同組合は要綱に基づき交付していることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、計画頭数を導入することが出来たため適正規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は、17,655千円で総額(27,985千円)の63%となっており負担関係は妥当だと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。